

柔道しずおか

平成 31 年 3 月 静岡県柔道協会発行

事務局 〒422-8004 静岡市駿河区国吉田 5-1-1 公益財団法人 静岡県体育協会内 静岡県柔道協会事務局

TEL 090-1832-9084 FAX 055-988-3611

メール shizuokajudo5803@yahoo.co.jp

【巻頭言】

指導者としてのあるべき姿を求めて

静岡県柔道協会 副会長 左 口 直 人



静岡県柔道協会創立70周年記念事業として、平成30年11月25日に静岡県立武道会にて、静岡県柔道協会創立70周年記念第60回静岡県柔道祭、12月8日には記念祝賀会を多くの御来賓が参加され盛大に挙行されました。滞りなく終了できたのは、柔道協会員の皆様方のご協力と心より感謝申し上げます。

さて、近年の柔道人口の減少に関する指導者としての求める姿を述べさせていただきます。平成の時代も残り少なくなり、明治・大正・昭和の各時代で栄華を誇っていた柔道は、現在では登録人口・競技人口が過去の時代では考えられないほど

減少しています。先の第60回静岡県柔道祭での野田会長の挨拶の中で「先人たちの努力と工夫により現在の静岡県柔道協会の形成が出来上がったと思います。しかしながら昨今柔道人口の状況をみると著しく減少が見られます。本協会でもその対応に苦慮しております。次代を担う少年少女への柔道の普及なくして未来はあり得ないとも感じております。」と申されました。また、マスコミでの発表で2020年の東京オリンピックで期待される種目として各世代のアンケートによりますと柔道は辛うじてベスト10に入る状態でした。過去このようなアンケートでは常に上位に位置していたと思います。この人気の無さを指導者の一人として真摯に受け止めこの問題を多くの指導者と共に究明に努め、この状況を乗り切る事が必要ではないかと思ひます。

現在の柔道はローマ字の「JUDO」の競技スポーツ「JUDO」だと思ひます。この「JUDO」も試合の出来る喜び、相手を尊ぶ心、公正心など多様な状況下で規律と道徳を重んじ心身を鍛えるスポーツとして世界百数十か国以上に広まっております。試合や日常の鍛錬を通しての人間育成を目指していると思います。しかしながら現状では指導者が、勝ち負けに拘り過ぎ柔道の一本を取る豪快さよりも、巧みな試合運びでの勝ちに拘り柔道本来の魅力を捨てているように見えます。また多くの人々も結果のみに酔いしれているように見られます。確かに勝負の勝ち負けは必要ですが、拘り過ぎは指導者の指導方向を見間違え大きな問題を起す原因となる様に感じられます。柔道本来の魅力と加納治五郎師範の求める処の「精力善用自他共栄」の精神を、私を含め多くの指導者が忘れていたような気がします。多くの指導者が原点に戻り世界中で愛され認められた日本発祥のスポーツとして、また先人の歩んだ道のりと努力を

胸に刻みそれを継承できる誇りを持ち修業し多くの少年少女の人間育成に一役を買うことが、指導者として「今求められている道」ではないでしょうか。柔道をこよなく愛している多くの指導者が一丸となり同じ方向を見て進みこの状況を打開し、静岡の柔道の発展にご協力をお願い申し上げます。



第 73 回

国民体育大会柔道競技 報告

平成最後の年の国体が福井県立武道館にて開催された。今年度成年男子は残念ながら東海予選にて敗退したが、少年男子並びに女子は前年に引き続き本戦に進出した。以下は国体監督による対戦記である。

少年男子



2018 福井「しあわせ元気」国体 少年男子
少年男子監督 渡部直樹
期間 平成 30 年 10 月 6 日 (土)
10 月 8 日 (月・祝)
会場 福井県立武道館

東海ブロック予選 2 位通過、2 年連続本大会出場

少年男子 選手・監督・コーチ

監督 渡部直樹

静岡学園高校教諭

コーチ 小柳津敬博

東海大静岡翔洋高校教諭

先鋒 山本蒼良

東海大静岡翔洋高校 3 年

次鋒 坂本航輝

静岡学園高校 3 年

中堅 村松孝紀

東海大静岡翔洋高校 3 年

副将 菅沼良成

飛龍高校 2 年

大将 福田力斗

浜松商業高校 2 年

少年男子は全国より各ブロックを勝ち抜いた 21 県と開催地の福井県を含めた 22 県でのトーナメント方式で開催されました。

本県は 3 年生 3 名、2 年生 2 名のチーム。『先鋒』、『次鋒』が昨年の経験者でもある山本と坂本、『中堅』は東海ブロックを勝ち抜いた立役者の村松、『副将』菅沼、『大将』福田は 2 年生の成長株。

静岡県柔道協会より、新しいロゴマークの入った柔道衣を贈

呈していただき、選手は身も引き締まると共に、より一層強い気持ちで静岡県の代表を誇りに戦うことができました。

〈一回戦〉静岡県 2-13 岡山県

先鋒 山本蒼良 ○(合わせ技) 三宅晴大

山本(右組み)三宅(左組み)のケンカ四つ。開始早々、相手の足技に反応し左の体落として技ありを先取る。その後お互いにこう着状態になるが、2 分 16 秒山本が場外際の小外刈りで 2 つ目の技ありを取り一本勝ち。チームにとって貴重な 1 点を取る。

次鋒 坂本航輝(技あり) ○平野達也

坂本(左組み)平野(右組み)のケンカ四つ。序盤、平野の組み手が上手く坂本が下がる展開となり 1 分過ぎに指導を受ける。その後お互いに技を掛け合うも、なかなか深く入ることが出来ずこう着状態。2 分過ぎに下がっていた坂本に 2 つ目の指導。あとのない坂本が前に出るが頭を下げられたところを内股からの小内刈りで技ありを取られる。残り時間果敢に攻めるも効果なく時間終了。1-1 の内容差でリードされる。

中堅 村松孝紀 ○(合わせ技) 加藤韻

村松(左組み)加藤(左組み)の相四つ。開始してお互いに技が出ずに両者に指導。その後、受けに回っているとの判断で村松にのみ 2 つ目の指導。後のない村松は 2 分過ぎに前に出て自分の良い組み手になると得意の内股に入りケンケンで追って技ありを奪い、すぐさま袈裟固めに入り 2 分 34 秒合わせ技一本を取る。2-1 のリード。

副将 菅沼良成(内股) ○嵐大地

菅沼(左組み)嵐(右組み)ケンカ四つ。序盤から菅沼が大内刈りで攻めるも相手もうまくさばいて崩しきれない。開始 57 秒、組み際に内股に入られると綺麗に回ってしまい一本の判定。2-2 の内容差リードで大将戦となる。

大将 福田力斗(大内刈り) ○高橋翼

福田(右組み)高橋(右組み)相四つ。相手は作陽高校のエースで金鷲旗では全日本選手権に出場した村尾三四郎(桐蔭学園)にも勝っている実力者。開始 30 秒で頭を下げられ首抜きで指導をもらう。その後はお互いに技

を掛け合うが効果なし。1 分 47 秒頭を上げてしまったところを大内刈りで真後ろに倒されて一本負け。2-3 逆転でチームの敗退が決まる。

〈総括〉

本県選手はバランスが良く 3 年生と 2 年生がうまく融合し、柔道以外の部分でも雰囲気の良い目立つチームであった。東海ブロック予選は 2 県が本選出場という中、3 試合とも厳しい戦いではあったが 2 勝 1 敗の 2 位で通過し本大会への出場を決めた。本大会では惜しくも強豪岡山県に敗退してしまったが、静岡県代表として素晴らしい勇姿を見せてくれた。来年度の少年男子は東海ブロック 1 枠と非常に厳しい状況ではあるが、2 年生で出場した 2 名はこの経験が来年度への大きな収穫になったと思われる。何としても 3 年連続の本大会出場を達成したい。最後になりましたが、会長をはじめ多くの先生方が福井県まで激励に来ていただいたことに心より感謝申し上げます。

※なお、本県出身、佐藤和哉選手(静岡学園高校↓日本大学)が東京都成年男子の大将として出場しており、全試合一本勝ちで東京都の 3 位入賞に大きく貢

女子

献していた。

藤枝順心中学高等学校 沼野由香利
女子は52 kg以下の先鋒（少年）、57 kg以下の次鋒（成年）、52 kg超～63 kg以下の中堅（少年）、63 kg超～78 kg以下の副将（少年）、体重無差別の大將（成年）の5人。

試合は、トーナメント方式による団体戦で行われた。

今年度は高校、大学において全国で活躍をしている5名の選手が揃ったため上位入賞を狙っていたが、初戦にて怪我をするというアクシデントに見舞われてしまった。

怪我をした選手はチームのことを考え、その後も強行出場をしてくれ、他の選手もチームとしての役割を果たそうと大変頑張ってくれた。

良いチームができたときほど、アクシデントが起こることがある。

その時に指導者、選手はどうしたらよいのかという勉強になった。
試合についてそれぞれの選手に感想・反省を書いてもらった。今回の経験、反省が今後の彼女たちの柔道人生に活かってくるはずである。



（二回戦）静岡県3-1大分県

（先鋒） 渋谷 舞 × 村上さくら

自分のペースで試合を進めることができていたが、残り30秒で手の甲を骨折。試合中の骨折は初めてだったので焦ったが、チームに迷惑はかけられないため戦い方を変え、やりきることに専念しました。先鋒としての役目ができず悔しさが残りしました。

（次鋒） 谷川美歩 ○合技 吉成沙也加

相四つの相手に対し、なかなか釣り手を持つことができなかったが、釣り手を持つことができたチャンスを生かし内股で

ポイントが取れ、そのまま抑え込むことができた。
立ち技から寝技の移行がしつかりとできたのでよかった。

（中堅） 袴田佳名瑚 ○大外刈 中間瑞紀

初戦という緊張もなく、落ち着いて試合をすることができた。その結果が一本勝ちに繋がりが中堅としての役割を果たすことができました。

（副将） 澤崎莉子 ○内股 河野真美

やりにくい相手に対して焦ってしまいました。技の仕掛けも狙ってしまい、技の決めも不十分で寝技への移行も遅く、やりにくい相手にこそ焦らずに自分の柔道をやり通すことが大切だと改めて思いました。

（大將） 米川明穂 反則負 ○安松春香

ベテラン選手に対して何もできないまま終わってしまいました。特に組手が上手で組みにいつてもすぐに切られてしまい、技をかけることもほとんどできず課題だらけの試合でした。

（三回戦） 静岡県1-3埼玉県
（先鋒） 渋谷 舞 合技 ○ 山瑠唯

釣り手を骨折し、釣り手をつかめない状態での試合でした。釣り手が使えなくとも右の技が使えたと試合前に準備していましたが、実際には掛けることができず、試合が終わってしまい悔しさが残る試合でした。

（次鋒） 谷川美歩 ○（技あり） 浅岡美名

ケンカ四つの動きが早い選手に対して釣り手を持つことが遅れ、相手のペースでのスタートになってしまった。韓国背負いでポイントを取ることができたが、抑え込むチャンスを逃してしまいました。

団体戦であるので、技あり勝ちでなく、一本勝ちで次の選手に繋げていかなければいけないと思いました。

（中堅） 袴田佳名瑚 横掛 ○ 渋谷萌々音

自分のペースで試合を進めることができた指導2を先取したが、焦って攻めてきた相手に対して焦ってしまい技を掛け急いだところに合わされ投げられてしまいました。

この試合を終え、試合の流れを自分で作ることの大切さを学びました。

（副将） 澤崎莉子（技あり） ○

佐藤星麗七

力強い相手の圧に対して下がってしまったことが敗因であった。

自分自身の苦手である組手に対して克服をしていかなければ、同じような選手に対して勝つことができないので克服をしていきたい。

（大將） 米川明穂 × 井上舞子

初戦の反省を生かし強気以前にでていくことができた試合でした。

ただ、技が単発で終わってしまいうことが多かったため、技をつなげることや相手の動きを利用した攻め方を学んでいきたい。



第60回
静岡県柔道祭開催

創立70年を迎えた静岡県柔道協会。その記念大会として11月25日、静岡県武道館にて第60回柔道祭が開催された。午前には記念式典、表彰式、石田姉妹による「柔の形」演武が行われた。午後からは各種別の試合が行われ、70周年記念に相応しい熱戦が繰り広げられた。なお表彰者、試合の結果並びに優秀選手は以下の通りである。

〈会長特別表彰〉

- 安原精二郎先生
- 酒井初雄先生
- 飯田 稔先生
- 永田重郎先生
- 山崎陸夫先生
- 根来礎夫先生
- 山口友孝(故人)先生
- 石黒金次先生

〈優秀団体章〉

藤枝順心高校

〈優秀選手章〉

- 米川明穂 (藤枝順心高校)
- 袴田佳名瑚 (藤枝順心高校)
- 百田久奈 (藤枝順心高校)
- 杉山月琉 (東海大学静岡翔洋中学)
- 山中美里 (藤枝順心中学)
- 長澤篤希 (静岡学園中学)
- 渋谷 舞 (東海大学静岡翔洋高校)
- 沼野由香利 (藤枝順心高校)

中学校教諭

古内千夏 (東海大学静岡翔洋中学)

優秀団体章並びに優秀選手章

受章理由は「新人選手紹介コーナー」の欄に掲載してありますのでご覧ください。優秀指導者章は、全国大会優勝者の指導・育成が受章理由です。

〔試合結果〕

小学生の部

- 1位 藤枝柔道倶楽部
- 2位 浜北柔道スポーツ少年団
- 3位 育誠館道場
- 3位 富士市柔道会

中学生男子の部

- 1位 静岡学園中学校
- 2位 伊豆長岡柔道会
- 3位 市立沼津高校中等部
- 3位 浜松市立北浜中学校

中学生女子の部

- 1位 東海大学静岡翔洋高校中等部
- 2位 藤枝順心中学校
- 3位 市立沼津高校中等部
- 3位 浜松市立引佐南部中学校

高校生男子の部

- 1位 静岡学園高校
- 2位 浜松商業高校
- 3位 飛龍高校
- 3位 加藤学園高校

高校生女子の部

- 1位 藤枝順心高校
- 2位 東海大学静岡翔洋高校
- 3位 浜北西高校
- 3位 浜松商業高校

一般の部

1位 静岡産業大学 A

2位 静岡刑務所

3位 静岡産業大学 B

3位 東海翔柔クラブ

〔優秀選手賞〕

小学生の部

- 川合 遼 (藤枝柔道倶楽部)
- 新村彪太 (浜北スポーツ少年団)

中学生男子の部

横山虎汰 (静岡学園)

岡本剛道 (伊豆長岡柔道会)

中学生女子の部

- 安食妃那 (藤枝順心)
- 柘植あおい (東海大学静岡翔洋)

高校生男子の部

- 下橋颯斗 (東海大学静岡翔洋)
- 福田力斗 (浜松商業)

高校生女子の部

- 山本 杏 (藤枝順心)
- 川口 優 (東海大学静岡翔洋)

一般の部

- 工藤史哉 (静岡産業大学)
- 鳥羽慶吾 (静岡刑務所)

石田姉妹の演武が始まると会場の空気が一変した。「水を打ったような静けさ」とはこのことをいうのであろう。誰一人言葉を発することない状況で、演武が淡々と進行していく。その美しさに観客が魅了され、驚嘆したからである。世界選手権2連覇という実力を目の当たりにする機会を得たことは誠に貴重な体験であり、これを契機に「形」

へ関心が高まることを期待している。柔道人気の復活には「美」といった概念(競技者には馴染み薄い言葉だが)も必要なのかもしれない。との印象を抱かせた。素晴らしい演武であった。



各種大会の報告

第40回全国高等学校柔道選手権大会

平成30年3月20日、21日

日本武道館

男子団体戦

加藤学園

女子団体戦

東海大学静岡翔洋高校

男子個人戦

60 kg級

山本蒼良 (東海大学静岡翔洋)

66 kg級

寺内遼太郎 (浜松商業)

1回戦敗退

73 kg級

角田英知 (東海大学静岡翔洋)

81 kg級

村松孝紀 (東海大学静岡翔洋)

3回戦敗退

無差別級

熊谷健太 (加藤学園)

女子個人戦

48 kg級

渋谷 舞 (東海大学静岡翔洋)

52 kg級

中村愛香莉 (藤枝順心)

57 kg級

袴田佳名瑚 (藤枝順心)

63 kg級

向尾知妃 (藤枝順心)

無差別級

米川明穂 (藤枝順心)

全日本カデ柔道体重別選手権大会

平成30年4月15日

大阪府門真ドーム

男子73 kg級

宇津山英弥 (浜松城北工業)

女子44 kg級

齋藤なずな (藤枝順心)

1回戦敗退

57 kg級
袴田佳名瑚（藤枝順心） 3位
70 kg超級
米川明穂（藤枝順心） 優勝

第38回全国少年柔道大会

平成30年5月5日 講道館
予選リーグ
宇治柔道会〔京都〕 4-0

藤枝柔道倶楽部

藤枝柔道倶楽部 2-1

板野町柔道教室〔徳島〕

予選リーグ敗退

平成30年度第66回県高校総体

平成30年5月19日、26日

県武道館

男子個人60 kg級

1位 山本蒼良（東海大学静岡翔洋）

66 kg級

1位 池田健哉（東海大学静岡翔洋）

73 kg級

1位 白石 諄（加藤学園）

81 kg級

1位 石川聖人（静岡学園）

90 kg級

1位 菅沼良成（飛龍）

100 kg級

1位 井手海輝（加藤学園）

100 kg超級

1位 深井大雅（加藤学園）

女子個人48 kg級

1位 渋谷 舞（東海大学静岡翔洋）

52 kg級
1位 中村愛香莉（藤枝順心）

57 kg級
1位 八道さくら（藤枝順心）

63 kg級
1位 百井優佳（東海大学静岡翔洋）

70 kg級
1位 澤崎莉子（東海大学静岡翔洋）

78 kg級
1位 山本 杏（藤枝順心）

78 kg超級
1位 米川明穂（藤枝順心）

男子団体 1位 加藤学園

女子団体 1位 藤枝順心

第15回全国小学生学年別大会県予選

平成30年5月20日

県武道館

男子5年生45 kg級

1位 杉山笑資（育誠館）

2位 筑波滉太（伊豆長岡柔道会）

3位 佐野奨弥（笠井柔道館）

男子5年生45 kg超級
門倉寛太（藤枝柔道倶楽部）

1位 川合 遼（藤枝柔道倶楽部）

2位 大橋弘誠（豊田柔道クラブ）

3位 高橋琉維（田代道場）

藤田郁磨（鷹柔クラブ）

男子6年生50 kg級

1位 長屋 進（育誠館）

2位 渡邊誉一（伊豆長岡柔道会）

3位 柴田龍樹（大仁柔道会）

岡本篤弥（静岡錬心館）

男子6年生50 kg超級

1位 堀川泰生（習志進スポーツ会）

2位 西村 蓮（富士宮柔道会）

3位 巻井優雅（神土館）

森本倅啓（浜北遠スポ少年団）

女子5年生40 kg級

1位 袴田有里奈（和道場）

2位 松村美来（永友会）

3位 今井葵彩（神土館）

渡辺ミラノ（富士宮柔道会）

女子5年生40 kg超級

1位 渡邊美海（神土館）

2位 高田 樹（富士市柔道会）

3位 渡邊夏希（永友会）

3位 田嶋いちか（中央柔道クラブ）

女子6年生45 kg級

1位 吉田旺布（育誠館）

2位 樋口実夢（藤枝柔道倶楽部）

3位 高岡実理（富士宮柔道会）

渡部華奈（東部柔道クラブ）

女子6年生45 kg超級

1位 鈴木千夏（浜北スポーツ少年団）

2位 鈴木結虹（浜北スポーツ少年団）

3位 井口結愛（浜北スポーツ少年団）

菅沼りみ（田代道場）

第67回静岡県高等学校定時制通信制体育大会

平成30年5月27日

浜松市武道館

男子団体 1位 浜松工業高校

男子65 kg級

1位 高橋夏樹（小山）

2位 高橋紀好（小山）

3位 山田直明（沼津工業）

75 kg級
1位 飯川竜吉（沼津工業）

2位 ロドリゲスピクトルサトウ（富士）

3位 中山輔武己（浜松工業）

90 kg級
1位 大村マサシ（浜松工業）

2位 白井翔祐（浜松大平白）

3位 遠藤真輝（沼津工業）

90 kg超級
1位 大賀稜也（富士）

無差別級
1位 ロドリゲスピクトルサトウ（富士）

2位 高橋夏樹（小山）

3位 高橋紀好（小山）

4位 大村マサシ（浜松工業）

5位 大賀稜也（富士）

6位 白井翔祐（浜松大平白）

7位 飯川竜吉（沼津工業）

女子52 kg級

1位 内山田美幸（富士）

63 kg級

1位 久保敷さくら（新居）

2位 木村タエコ（新居）

3位 内山田美幸（富士）

女子無差別級

1位 久保敷さくら（新居）

2位 木村タエコ（新居）

3位 内山田美幸（富士）

平成30年度静岡県ジュニア柔道体重別選手権大会

平成30年6月10日

県武道館

男子55 kg級

1位 石川俊介（静岡学園高）

60 kg級
1位 山本蒼良（東海大学静岡翔洋高）

東海大会優勝、全国大会出場

66 kg級
1位 日高大地（静岡産業大学）

73 kg級
1位 坂本航輝（静岡学園高）

81 kg級
1位 村松孝紀（東海大学静岡翔洋高）

90 kg級
1位 梶本祐揮（静岡産業大学）

100 kg超
1位 池田光洋（静岡産業大学）

100 kg超級

1位 福田力斗（浜松商業高）

東海大会優勝、全国大会出場

女子44 kg級

1位 齋藤なずな（藤枝順心高）

48 kg級

1位 渋谷 舞（東海大学静岡翔洋高）

東海大会優勝、全国大会3位

2 kg級

1位 中村愛香莉（藤枝順心高）

57 kg級

1位 袴田佳名瑚（藤枝順心高）

東海大会優勝、全国大会出場

63 kg級

1位 百井優佳（東海大学静岡翔洋高）

70 kg級

1位 澤崎莉子（東海大学静岡翔洋高）

78 kg級

1位 山本 杏（藤枝順心高）

78 kg 超級

1 位 米川明穂 (藤枝順心中)
東海大会優勝、全国大会 3 位
東海大会は 7 月 8 日、愛知県武道館にて、全国大会は 9 月 8・9 日、埼玉県立武道館にて開催された。

関東警察柔道大会

平成 30 年 6 月 14 日

関東管区警察学校

男子団体 B 組

第 2 位

女子個人 63 kg 以下級

原田祐花

5 位

63 kg 超級

菊池優貴乃

初戦敗退

静岡県体重別選手権大会

平成 30 年 7 月 16 日 県武道館

男子 60 kg 級

1 位 秩父良亮 (静岡産業大学)

2 位 小林大貴 (中央大学)

3 位 加藤唯人 (大東文化大)

山下海斗 (静岡産業大学)

73 kg 級

1 位 多田陽平 (静岡県警察)

2 位 大木恭介 (静岡県警察)

3 位 正治和也 (静岡県警察)

岡本健吾 (静岡県警察)

90 kg 級

1 位 齋藤光星 (静岡県警察)

2 位 鈴木隆聖 (関西大学)

3 位 工藤史哉 (静岡産業大学)

無差別級

鈴木日文 (静岡県警察)

1 位 米山竜生 (東海大学)

2 位 眞野洋光 (東海翔柔クラブ)

3 位 市川航太 (静岡産業大学)

飯沼元紀 (静岡県警察)

女子無差別級

1 位 菊池優貴乃 (静岡県警察)

2 位 橋本夏海 (静岡産業大学)

3 位 油木田菜那 (聖明病院)

平成 30 年度第 71 回静岡県中学校総合体育大会柔道競技

平成 30 年 7 月 24・25 日

浜北総合体育館

男子団体

1 位 静岡学園中

2 位 東海大学静岡翔洋中

3 位 北浜中、長岡中

女子団体

1 位 東海大学静岡翔洋中

2 位 市立沼津中

3 位 藤枝順心中、引佐南部中

男子 50 kg 級

1 位 小林勇斗 (東海大学静岡翔洋中)

2 位 渡邊銀士 (長岡中)

3 位 内藤蒼太 (湖東中)

秦 魁都 (市立沼津中)

男子 55 kg 級

1 位 鈴鹿睦月 (高台中)

2 位 片桐叶夢 (笠井中)

3 位 石川吟ノ助 (裾野東中)

谷口慶乃介 (長泉北中)

男子 60 kg 級

1 位 原 章博 (市立沼津中)

2 位 岡本治祈 (長岡中)

3 位 柴田嶺音 (清水第八中)

新井陸斗 (田子浦中)

男子 66 kg 級

1 位 辻本龍基 (静岡学園中)

2 位 秋山龍杜 (伊東南中)

3 位 宇佐美知優 (高台中)

杉山颯茉 (細江中)

男子 73 kg 級

1 位 長澤篤希 (静岡学園中)

2 位 村上大心 (北上中)

3 位 服部昂輝 (笠井中)

繁田幹太 (東海大学静岡翔洋中)

男子 81 kg 級

1 位 木田敦也 (静岡学園中)

2 位 井口豪琉 (北浜中)

3 位 服部真也 (観山中)

金子 翼 (細江中)

男子 90 kg 級

1 位 山本師道 (可美中)

2 位 野村晟也 (長泉中)

3 位 鈴木大空 (静岡学園中)

木内銀平 (東海大学静岡翔洋中)

男子 90 kg 超級

1 位 荒 誠人 (静岡学園中)

2 位 井内春希 (北浜中)

3 位 中山新治 (北浜中)

佐々木里旺 (東海大学静岡翔洋中)

女子 40 kg 級

1 位 百田久奈 (藤枝順心中)

2 位 金子舞果 (町立清水南中)

3 位 酒井茉優 (長田西中)

吉田季布 (聖霊クリストファース)

女子 44 kg 級

1 位 山中美里 (藤枝順心中)

2 位 原田詩依菜 (藤枝順心中)

3 位 太田瑞月 (観山中)

太田葉月 (観山中)

女子 48 kg 級

1 位 山本唯未 (湖西中)

2 位 青島ころ (大富中)

3 位 原川珠緒 (藤枝順心中)

時森琴梨 (静岡東中)

女子 52 kg 級

1 位 望月佑彩 (市立沼津中)

2 位 片桐明日美 (引佐南部中)

3 位 長倉嘉保 (長岡中)

安食妃那 (藤枝順心中)

女子 57 kg 級

1 位 杉山月琉 (東海大学静岡翔洋中)

2 位 安竹克海 (東海大学静岡翔洋中)

3 位 上原愛菜 (大仁中)

辻本栞穂 (市立沼津中)

女子 63 kg 級

1 位 望月珠樺 (市立沼津中)

2 位 安竹杏純 (焼津豊田中)

3 位 近藤小晴 (藤枝順心中)

小川真美 (原中)

女子 70 kg 級

1 位 渡辺麻唯乃 (東海大学静岡翔洋中)

2 位 通場瑞稀 (清水第八中)

3 位 原田しいな (湖西中)

金杏幸実 (新居中)

女子 70 kg 超級

1 位 杉田菜奈 (東海大学静岡翔洋中)

2 位 飯田星那 (高台中)

3 位 岩崎美空 (函南中)

ダシルバ・カロリーナ
(磐田南部中)

全国教員大会

平成 30 年 8 月 4 日 講道館

1 回戦 静岡 2-1 秋田

東海中学総合体育大会

平成 30 年 8 月 4・5 日

岐阜県関市総合体育館

男子団体

2 位 東海大学静岡翔洋中

3 位 静岡学園中

女子団体

3 位 市立沼津中

東海大学静岡翔洋中

男子 50 kg 級

1 位 小林勇斗 (東海大学静岡翔洋中)

55 kg 級

3 位 鈴鹿睦月 (高台中)

片桐叶夢 (笠井中)

60 kg 級

3 位 原 章博 (市立沼津中)

66 kg 級

1 位 辻本龍基 (静岡学園中)

73 kg 級

1 位 長澤篤希 (静岡学園中)

81 kg 級

1 位 木田敦也 (静岡学園中)

3 位 服部真也 (観山中)

90 kg 級

2 位 野村晟也 (長泉中)

90 kg 超級

3位	荒 誠人(静岡学園中)
女子40kg級	井内春希(北浜中)
1位	百田久奈(藤枝順心中)
44kg級	
2位	山中美里(藤枝順心中)
3位	原田詩依菜(藤枝順心中)
48kg級	
3位	山本唯未(湖西中)
52kg級	
2位	片桐明日美(引佐南部中)
57kg級	
3位	杉山月琉(東海大学静岡翔洋中)
63kg級	
3位	望月珠樺(市立沼津中)
70kg級	
3位	渡辺麻唯乃(東海大学静岡翔洋中)
70kg超級	
3位	杉田菜奈(東海大学静岡翔洋中)
平成30年8月5日 講道館	
男子団体	
2回戦	静岡4-1東京B
3回戦	静岡2-3秋田
第5位	
女子団体	
1回戦	静岡1-2大阪
男子65kg級	
高橋夏樹(小山)	1回戦敗退
75kg級	
飯川竜吉(沼津工業)	2回戦敗退

90kg級	大村マサシ(浜松工業)	3回戦敗退
90kg超級	大賀稜也(富士)	1回戦敗退
女子52kg級	内山田美幸(富士)	3回戦敗退
63kg級	久保敷さくら(新居)	1回戦敗退
	木村タエコ(新居)	2回戦敗退
平成30年8月8日、11日 三重県津市サオリーナ		
男子個人		
60kg級	山本蒼良(東海大学静岡翔洋)	1回戦敗退
66kg級	池田健哉(東海大学静岡翔洋)	2回戦敗退
73kg級	白石 諄(加藤学園)	3回戦敗退
81kg級	石川聖人(静岡学園)	1回戦敗退
90kg級	菅沼良成(飛龍)	1回戦敗退
100kg級	井手海輝(加藤学園)	1回戦敗退
100kg超級	深井大雅(加藤学園)	

女子個人		1回戦敗退
48kg級	渋谷 舞(東海大学静岡翔洋)	3回戦敗退
52kg級	中村愛香莉(藤枝順心)	3回戦敗退
57kg級	八道さくら(藤枝順心)	2回戦敗退
63kg級	百井優佳(東海大学静岡翔洋)	1回戦敗退
70kg級	澤崎莉子(東海大学静岡翔洋)	2回戦敗退
78kg級	山本 杏(藤枝順心)	5位
78kg超級	米川明穂(藤枝順心)	2位
男子団体	加藤学園1-2	
1回戦	神戸国際大付(兵庫)	
女子団体		3位
1回戦	藤枝順心3-0	
2回戦	藤枝順心3-0	
3回戦	藤枝順心①-1	
4回戦	藤枝順心0(代表勝ち)	
0富士学苑(山梨)		
準決勝	藤枝順心1(代表負け)	
1敬愛(福岡)		

第49回全国中学校柔道大会		
平成30年8月17日、20日 広島県立総合体育館		
男子団体	静岡学園中	決勝トーナメント
女子団体	東海大学静岡翔洋中	予選リーグ敗退
男子50kg級	小林勇斗(東海大学静岡翔洋中)	4回戦敗退
男子55kg級	鈴鹿睦月(高台中)	2回戦敗退
男子60kg級	原 章博(市立沼津中)	2回戦敗退
男子66kg級	辻本龍基(静岡学園中)	3回戦敗退
男子73kg級	長澤篤希(静岡学園中)	3位入賞
男子81kg級	木田敦也(静岡学園中)	4回戦敗退
男子90kg級	山本師道(可美中)	1回戦敗退
男子90kg超級	荒 誠人(静岡学園中)	3回戦敗退

女子40kg級	百田久奈(藤枝順心中)	優勝
女子44kg級	山中美里(藤枝順心中)	3位入賞
女子48kg級	山本唯未(湖西中)	2回戦敗退
女子52kg級	望月佑彩(市立沼津中)	2回戦敗退
女子57kg級	杉山月琉(東海大学静岡翔洋中)	優勝
女子63kg級	望月珠樺(市立沼津中)	2回戦敗退
女子70kg級	渡辺麻唯乃(東海大学静岡翔洋中)	3回戦敗退
女子70kg超級	杉田菜奈(東海大学静岡翔洋中)	1回戦敗退
国体東海予選		
平成30年8月19日 岐阜県大垣市武道館		
成年男子	3位	
少年男子	2位	全国大会出場
女子は東海予選なしで本戦出場		
平成30年度第15回全国小学生学年別柔道大会		

平成 30 年 8 月 26 日

山口県周南市

男子 5 年生 45 kg 級

杉山 笑資 (育誠館)

3 回戦敗退

5 年生 45 kg 超級

川合 遼 (藤枝柔道倶楽部)

1 回戦敗退

6 年生 50 kg 級

長屋 進 (育誠館)

1 回戦敗退

6 年生 50 kg 超級

堀川 泰生 (菊川市柔道スポーツ少年団)

2 回戦敗退

女子 5 年生 40 kg 級

袴田有里奈 (和道場)

3 回戦敗退

5 年生 40 kg 超級

渡邊 美海 (神士館)

3 回戦敗退

6 年生 45 kg 級

吉田 旺布 (育誠館)

1 回戦敗退

6 年生 45 kg 超級

鈴木 千夏 (浜北スポーツ少年団)

1 回戦敗退

平成 30 年度全日本ジュニア
柔道体重別選手権大会

平成 30 年 9 月 8 日・9 日

埼玉県立武道館

女子 48 kg 級

洪谷 舞 (東海大学静岡翔洋高校)

3 位入賞

78 kg 超級

米川 明穂 (藤枝順心高)

3 位入賞

平成 30 年度定時制通信制高
校東海大会

平成 30 年 9 月 9 日

愛知県武道館

男子個人

65 kg 級

高橋 夏樹 (小山高校) 第 2 位

高橋 紀好 (小山高校)

1 回戦敗退

75 kg 級

飯川 竜吉 (沼津工業高校) 優勝

ロドリゲス ビクトル サトウ (富士高校)

1 回戦敗退

90 kg 級

大村 マサシ (浜松工業高校)

第 2 位

遠藤 真輝 (沼津工業高校)

1 回戦敗退

90 kg 超級

大賀 稜也 (富士高校)

1 回戦敗退

女子個人

52 kg 級

内山 美幸 (富士高校) 第 2 位

63 kg 超級

木村 タエコ (新居高校)

1 回戦敗退

久保 敦さくら (新居高校)

1 回戦敗退

第 7 回静岡県小学生学年別
柔道選手権大会

平成 30 年 9 月 16 日

静岡県武道館

4 年生男子軽量級

1 位 高岡 颯人 (富士宮柔道会)

2 位 渡邊 以蔵 (伊豆長岡柔道会)

3 位 山本 大夢 (積武館)

大城 脩也 (育誠館)

4 年生男子重量級

1 位 末岡 アキラ (笠井柔道館)

2 位 杉本 晴哉 (育誠館)

3 位 堀内 雅翔 (静岡東部柔道クラブ)

佐藤 佑真 (神士館)

4 年生女子軽量級

1 位 鈴木 彩夏 (清水町柔道会)

2 位 日吉 七美 (函南柔道会)

3 位 新名 郁美 (和道場)

諸井 希 (袋井スポーツ協会柔道部)

4 年生女子重量級

1 位 勝又 美涼 (御殿場市柔道連盟)

2 位 水野 菜那 (国士塾)

3 位 鈴木 夕結 (笠井柔道館)

北井 杏樹 (浜松養心館)

5 年生男子軽量級

1 位 狩野 央輔 (静岡南部柔道クラブ)

2 位 青木 誠 (柔好会)

3 位 門倉 寛太 (藤枝柔道倶楽部)

仁井 瑛太 (柔好会)

5 年生男子重量級

1 位 川合 遼 (藤枝柔道倶楽部)

2 位 杉山 笑資 (育誠館)

3 位 西村 其逢 (掛川柔道クラブ)

藤田 琉聖 (富士宮柔道会)

5 年生女子軽量級

1 位 渡辺 ミラノ (富士宮柔道会)

2 位 谷口 礼乃 (神士館)

3 位 埴淵 望愛 (浜北道スポーツ少年団)

園部 葵麟 (大仁柔道会)

5 年生女子重量級

1 位 渡邊 美海 (神士館)

2 位 渡邊 夏希 (永友会)

3 位 松村 美来 (永友会)

川合 莉心 (伊豆長岡柔道会)

6 年生男子軽量級

1 位 小田 優斗 (伊豆長岡柔道会)

2 位 長屋 進 (育誠館)

3 位 中村 悠斗 (育誠館)

古川 一樹 (神士館)

6 年生男子中量級

1 位 山田 翔太 (田代道場)

2 位 藤田 惺士朗 (富士宮柔道会)

3 位 渡邊 誉一 (伊豆長岡柔道会)

柴田 龍樹 (大仁柔道会)

6 年生男子重量級

1 位 西村 蓮 (富士宮柔道会)

2 位 堀川 泰生 (菊川市柔道スポーツ少年団)

3 位 鈴木 蓮 (伊豆市柔道部)

眞田 諒太 (藤枝柔道倶楽部)

6 年生女子軽量級

1 位 吉田 旺布 (育誠館)

2 位 貝原 磨明 (浜北道スポーツ少年団)

3 位 金子 穂尚美 (清水町柔道会)

渡邊 菜月 (鍊正館)

6 年生女子中量級

1 位 樋口 実夢 (藤枝柔道倶楽部)

2 位 矢島 裕菜 (富士共栄道場)

3 位 平賀のどか (大仁柔道会)

三木 にこ (藤枝柔道倶楽部)

6 年生女子重量級

1 位 鈴木 結虹 (浜北柔道スポーツ少年団)

2 位 松田 琴海 (長泉柔道会)

3 位 後藤 穂乃香 (浜北柔道スポーツ少年団)

鈴木 千夏 (浜北スポーツ少年団)

全国警察柔道選手権大会

平成 30 年 9 月 25 日 日本武道館

男子 66 kg 級

大木 恭介 2 回戦敗退

73 kg 級

多田 陽平 初戦敗退

90 kg 級

鈴木 日文 初戦敗退

女子 63 kg 級

原田 祐花 初戦敗退

70 kg 級

菊池 優貴乃 5 位

国民体育大会柔道競技

平成 30 年 10 月 6 日～8 日

福井県立武道館

少年男子

1 回戦 静岡県 2-3 岡山県

女子

2 回戦 静岡県 3-1 大分県

3 回戦 静岡県 1-3 埼玉県

平成 30 年度全日本柔道形競
技大会

平成 30 年 10 月 21 日

講道館大道場

極の形

小椋俊彦 (静岡県警)

鈴木慎一 (静岡県警)

古式の形

渡邊達也 (静岡県警)

磯部正博

4位

7位

全国警察柔道大会

平成30年10月22日 日本武道館

男子団体第2部

静岡2-3大分

静岡0-2京都

女子団体

静岡0-3大阪

静岡0-3警視庁

リーグ戦敗退

平成30年度定時制通信制高校秋季大会

平成30年11月4日

三島長陵高柔道場

男子65kg級

1位 高橋紀好 (小山)

2位 ナガタリユウ (浜松大平台)

75kg級

1位 ロドリゲスビクトルサトウ (富士)

90kg級

1位 大村マサシ (浜松工業)

2位 遠藤真輝 (沼津工業)

女子無差別級

1位 木村タエコ (新居)

2位 VU TIN HAO (浜松工業)

3位 近藤まゆみ (浜松大平台)

第60回静岡県柔道祭

平成30年11月25日

静岡県武道館

小学生の部

1位 藤枝柔道倶楽部

2位 浜北柔道スポーツ少年団

3位 育誠館道場

富士市柔道会

中学生男子の部

1位 静岡学園

2位 伊豆長岡柔道会

3位 市立沼津高校中等部

北浜中

中学生女子の部

1位 東海大学静岡翔洋高校中等部

2位 藤枝順心

3位 市立沼津高校中等部

引佐南部中

高校生男子の部

1位 静岡学園

2位 浜松商業

3位 飛龍

加藤学園

高校生女子の部

1位 藤枝順心

2位 東海大学静岡翔洋

3位 浜北西

浜松商業

一般の部

1位 静岡産業大学A

2位 静岡刑務所

3位 静岡産業大学B

東海翔柔クラブ

第35回静岡県大学高専青年柔道大会

平成30年12月15日

静岡産業大学柔道場

団体戦の部

1位 静岡産業大学B

2位 静岡産業大学A

3位 東海大学海洋学部

男子66kg級

1位 秩父良亮 (静岡産業大学)

2位 熊野暢彦 (東海大学海洋学部)

3位 日高大地 (静岡産業大学)

男子81kg級

1位 根布長聖生 (静岡産業大学)

2位 服部 滯 (静岡産業大学)

3位 荒木大地 (東海大学海洋学部)

男子+81kg級

1位 佐藤辰哉 (静岡産業大学)

2位 伊藤大地 (静岡産業大学)

3位 笠間 正 (静岡産業大学)

第41回全国高等学校柔道選手権大会 (兼県新人大会)

平成31年1月19日、26日

静岡県武道館

《個人戦》

男子60kg級

1位 加藤遼馬 (静岡学園)

66kg級

1位 田中大介 (飛龍)

73kg級

1位 白石 諄 (加藤学園)

81kg級

1位 柴田蓮音 (東海大学静岡翔洋)

無差別級

1位 福田力斗 (浜松商業)

女子48kg級

1位 吉永 繭 (藤枝順心)

52kg級

1位 百田久佳 (藤枝順心)

57kg級

1位 袴田佳名瑚 (藤枝順心)

63kg級

1位 芦沢佑奈 (藤枝順心)

無差別級

1位 米川明穂 (藤枝順心)

《団体戦》

男子1位 加藤学園

女子1位 藤枝順心

各階級1位は、3月20・21日に日本武道館で行われる全国大会に出場。

平成30年度全日本選手権・全日本女子柔道選手権大会 静岡県予選

男子

1位 齋藤光星 (静岡県警)

2位 久松達斗 (静岡県警)

3位 多田陽平 (静岡県警)

女子

1位 澤崎莉子 (東海大学静岡翔洋高校)

2位 原田祐花 (静岡県警)

3位 高山美憂 (藤枝順心)



男子1、2位は3月3日、愛知県武道館で行われる東海大会に出場。

女子は澤崎と米川明穂 (藤枝順心) が東海大会に出場。

NEWS

野田会長が
体育章功労賞受賞

平成30年6月22日、ホテルセンチュリー静岡にて、静岡県体育協会体育章授賞式が行われ、静岡県柔道協会会長の野田昭一氏が体育章功労賞を受賞した。

道場紹介

県内各地でがんばっている「道場」を各地区2道場ずつ紹介します。

- ①名称
- ②住所(練習場所)
- ③連絡先
- ④代表者氏名
- ⑤所属人数

南部柔友会

- ②〒422-8033
静岡市駿河区登呂3丁目6-1
静岡市立高松中学校 柔道場
- ③〒422-8042
静岡市駿河区石田3-7-1
090-8547-2048
- ④山田智鶴
- ⑤児童0人、小学生16人、中学生5人、高校生2人、大学・社会人20人

⑥道場紹介

南部柔友会は平成10年に発足し、小学生から一般まで、経験未経験を問わず幅広く生徒を受け入れ、柔道精神に基づいた指導を行なっております。

稽古は毎週月・水・土の3回、少年の部(小学生)は19時から20時まで、一般の部(中学生以上)は20時から21時までです。

当道場では、小学生のうちは試合などでの成績を重視するのではなく、基本動作や基礎体力を身につけることに重点を置き、楽しく長く続けられるよう日々創意工夫して指導にあたっております。中学生以上の一般の部に対しては、個々の意志や目的を尊重し、それぞれに合った指導を心がけております。またあくまで学生は勉強を、社会人は仕事を本分とし、それぞれに支



障をきたすことなく柔道を習得するよう指導しております。柔道の修行はどのレベルに達しても終わりはないと考えております。また人それぞれのペースで習得して行くものと考えます。人は知性も体力も体格も異なり、その成長のスピードもプロセスも違います。その中でそれぞれが自分の目標を決めて、それを一つ一つクリアして行く。進学や就職などにより、ここで稽古ができなくなることもありえます。でも何処へ行ってもその環境を見つけて続けてもらいたい。そしていつかここに帰って

くることができたら、その時はそれまでの経験を活かして、指導者として後輩たちに伝えて行く。南部柔友会はそんな道場であり、またそんな道場であり続けたいと考えております。

心技館

- ②〒418-0111
富士宮市山宮1552-3
- ③0544-58-1112
090-8862-2354
- ④齊藤 実
- ⑤小学生15人、中学生10人、社会人7人

⑥道場紹介

一九八〇年三月一五日に開場しました。一番の恩人が大工で柔道に理解があったため、意気投合し、自宅に二十二畳の手造り道場を造りました。

それから五年後、父母会の協力で一三〇畳の道場が完成し、そこで富士地区の少年柔道大会を実施しました。子どもたちの思い出に残るような楽しい大会を行い、継続の要請も多くありましたが、五回開催した後、大会は終了しました。

二〇〇八年に漏電による道場火災が発生し、道場を止めようとしたのですが、二〇一〇年、狭いながらも九〇畳の道場を再建し、現在に至っています。

道場では、「自分がされて嫌なことは人には絶対にやらない」を心がけ、「強い子を強くするの

は当たり前、弱い子が少しでも頑張る子になる様にするのが指導である」という信念で、日々の稽古にあたっています。そのためか、これまで中学校四校と高等学校二校の体育の授業にも頼まれ、出向いてきました。心技館出身の選手が全中に一人、インターハイに二人出場し、今も楽しく柔道を続けています。



南伊豆柔道会

- ②〒415-0304
賀茂郡南伊豆町加納590-1
南伊豆町武道館
- ③〒415-0304
賀茂郡南伊豆町加納210
0558-62-1390
- ④黒田高志
- ⑤幼児4名、小学生8名、中学生1名、社会人7名



⑥道場紹介

南伊豆柔道会の歴史は古く設立され50年以上がたっています。故菊池利郎氏により柔道を通じて仲間を思う心、自分に負けずに最後までやり抜く力を身に付け健全なる青少年の育成を目標に発足しました。

現在は、水・金曜日の週2回午後7時から8時30分まで幼児から社会人が練習に励んでいます。

練習は、自分の孫のような子を指導している還暦を過ぎた先生方から柔道会に通っていたOB・OGが指導に当たってくれています。

又、幼児と小学生が中心になる為、特に礼法、挨拶、受け身等の基本練習に重点を置く事に心掛けています。特に小学校低

⑥道場紹介
育誠館道場は、佐藤宏前館長が昭和54年に浜松市西区湖東町の公民館を借りて湖東柔道クラブとして発足しました。そして昭和57年に育誠館道場を建設し、平成21年、現館長の杉山崇に引き継ぎ現在に至っており、今年でちょうど40年になります。

練習日は火・水・金・土で、現在の道場生は幼児・小学生・中学生で50名ほどになります。道場生は浜松市西区を中心に、中区、北区、浜北区、南区、湖西市、磐田市、愛知県からと広

育誠館道場

②〒431-1103

浜松市西区湖東町
1169-178

③同上

④杉山 崇

⑤幼児3人、小学生32人、
中学生15人、
高校生・大学・社会人5人

学年生が、参加できる数少ない大会の賀茂柔道選手権大会・月島柔友会錬成大会・裾野市スポーツ祭柔道大会等で練習に励んだ結果が表れているため基本を大切に次の大会に向けて子供たちは練習に励んでいます。

今後も結果だけではなく、努力する大切さや喜びを教え、個々の個性を大切に、多くの人に愛され、一人でも多くの柔道を続ける選手が育つように指導していきたいと思っています。



範囲にわたって在籍しているのも本道場の特徴となります。道場のモットーである「和して闘う」を合言葉にして日々の練習に励んでいます。

礼法や受け身などの柔道選手としての基本動作の習得はもちろんのこと、大小様々な大会で結果を出すということも求めていきたいと思っています。ここ数年、全国大会にも数々の選手を輩出することができております。道場生の特徴として、柔道が本当に好きな子が多く、道場卒業後も、高校、大学と柔道を継続し各方面で活躍している選手が多いことが挙げられます。これからも皆様方に応援していただける道場を目指していきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。



桜ヶ丘柔道クラブ

②〒424-0852

静岡市清水区神田町4-57

③〒424-0851

静岡市清水区堂林1-1-8

サンコーボ堂林302

090-4388-5542

④河野晋作

⑤小学生2名、中学生1名、
高校生1名、社会人9名

⑥道場紹介
桜ヶ丘柔道クラブは、平成29年より発足・開始した新米道場です。毎週水・土曜日午後7時から9時まで、清水第二中学校にて稽古を行っております。

前述のとおりスタート間もないチームで人数も多くありません。

⑥道場紹介
昭和27年北浜体協柔道部として発足し、北浜小学校講堂に32畳の畳を敷いて始まり、昭和40年に少年部が柔道スポーツ少年団として発足しました。

現在は、浜北区竜南にある浜北武道館において毎週水・土曜日の2回、園児・小学生は午後7時から8時30分、中学生以上は9時30分まで汗を流し稽古に励んでいます。園児には柔道

浜北柔道協会 浜北柔道スポーツ少年団

②〒434-0024

浜松市浜北区竜南26

③〒434-0037

浜松市浜北区沼248-1
一瀬 誠〔一瀬接骨院〕

④鈴木 巧

⑤児童10名、小学生50名、中
学生20名、高校生10名、大
学・社会人25名

んが、少数精鋭、各人が目標を掲げ、気合いの入った稽古を心がけています。また積極的に出稽古にも参加し、同時に他の道場やチームとの親睦を深めております。

昨年の柔道祭中部支部予選会において一般の部準優勝と、大人も奮闘中です。

当道場は礼儀作法や基本所作を重んじ、日常生活を充実させることにより人間成長するを旨に活動しております。

見学・合同稽古、大歓迎です。今後ともよろしくお願いいたします。



の基本である『礼法』『受身』を、小学生には『感謝の気持ち』『勝ち負けではなく、自分の目標に向かって努力する』ことに重点を置き指導しています。

又、少年団活動として、他の競技の子供達との交流会やリーダー講習会などにも積極的に参加しています。

子供達には、『柔道が大好き！』と、ずっと言ってもらえるように、そして子供達が大人になつた時に、また浜北でいっしょに柔道が出来るよう指導者も日々精進しています。

新人選手紹介コーナー

今年も昨年同様、多くの選手を紹介することができた(1団体6個人)。全国で活躍する選手が身近に感じられることは、静岡柔道のレベルアップに欠かせないことである。多くの選手が活躍してくれたことを非常に喜ばしく感じている。以下に全国大会上位入賞者(3位以内)のインタビューを掲載する。

初段 米川明穂さん

(藤枝順心高校)



全国高校柔道選手権大会女子無差別級 準優勝
全日本カデ柔道体重別選手権大会女子70kg超級 優勝
全国高校総体女子78kg超級 準優勝
全日本ジュニア柔道体重別選手権大会女子78kg超級 3位

「印象に残る試合は何ですか?」と尋ねたところ、即座に「高校選手権決勝とインターハイ個人決勝です。」と答えてくれた米川さん。「高校選手権では初めての個人決勝進出でした。しかも相手(1学年上)とは3戦して1勝2敗。是非でも勝ちたいという気持ちが強かった。結果的には負けましたが、自分から技を仕掛けた結果なので、その点では悔いはありません。」と振り返ってくれました。続いてインターハイ個人戦を振り返って「インターハイも選手権と同じ相手でした。今度こそ勝つんだ、という強い気持ちを持って試合に臨みました。しかし負けてしまい、悔しさだけが残っていました。」と淡々と語ってくれました。

「この1年での自己の成長は?」との問いには「メンタルだと思います。」

す。うまくいかないことがあると自分に腹を立ててしまうことが多かったのですが、しっかりとコントロールする術を身につけたからです。」と答えてくれました。さらなる飛躍を期待したいと思います。

初段 袴田佳名瑚さん

(藤枝順心高校)



全国高校柔道選手権大会女子57kg級 3位

「去年が3位だったので、今年は個人戦では全国優勝を狙いたい。」と明確な目標を掲げてくれた袴田さん。「中学時代は一つ下の階級(52kg級)で全国2位という結果を出したけれど、その成績をまだ高校で上回っていないから、自分ももっとと頑張らなきゃいけないんだと感じています。」と謙虚に語ってくれました。また「以前は自分をうまくコントロールできず、試合に負けてしまうことがありました。今は練習中でも自分がどんなにきつても周りを見て行動することが出来ているので、その成長していると感じています。」「だから試合前に緊張することなく、かえってわくわくしています。」とも語ってくれました。

試合が楽しくて仕方がない、といった印象を受けました。最後に「今年の選手権では団体戦にも出場するので、全員の力で頂点に立ちたい。」と力強く語ってくれました。意志あふれるところに未来は拓かれる、といえます。袴田さんの活躍を大いに期待しています。

一級 百田久奈さん

(藤枝順心中学)



全国中学校柔道選手権大会女子40kg級 優勝

「中2でも出場しましたが、そのときは1回戦負け。だから今回はまず入賞を、と考えていました。」と話し始めてくれた百田さん。「決勝までいったので優勝したいと思いました。最初にひやりとした場面もあったけど、『待て』がかかり、そこで気持ちをうまく切り替えることが出来ました。」さらに「相手が出てきたところにうまく技を合わせる事が出来て、気がついたら勝っていました。」と試合を振り返ってくれました。まさに「剣の極意に曰く、『勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし』」を体現しているようです。

もの心ついたときには柔道着を着ていたそうです。「姉が柔道をやっていたので、その影響も大きいと思います。」とも語ってくれました。「将来は?」との問いに、「柔道の指導者になりたい。」とのことでした。理由を尋ねると、「今回このような結果を残せたのは、自分だけの力ではなく、多くの人が支えてくれたおかげです。ですから私は将来、支える側の人間になりたいんです。」とはっきりと答えてくれました。

静岡県柔道協会 シンボルマーク



今年度、静岡県柔道協会のシンボルマークができました。静岡県を代表して全国大会などに出場する選手だけがつけることのできる、特別なマークです。実際に今年の国体に出場した選手たちも、このマークをつけて試合に臨みました。シンボルマークは静岡県の形を図案化し、柔道の帯を締めていて、その色は県の特産品であるミカンを表すオレンジ色をしています。その下には海をイメージしたマリブルーのSHIZUOKAのロゴが入っています。ぜひ皆さんも静岡県を代表する柔道選手になって、このマークをつけて活躍してください。



一級 杉山月琉さん

(東海大学静岡翔洋高校中等部)

全国中学校柔道選手権大会女子57kg級 優勝

「母を実績で超えなければきつと認めてもらえない。」と優勝を決めた翌日に語った杉山さん。お母様はインターハイ準優勝の実績がある方で、この言葉に杉山さんの上昇志向が強く表れています。特に決勝戦は東海大会で一本負けした相手。試合前、監督の古内先生に対しても「大丈夫です。動いています。疲れもありません。」と言ったそうです。それを聞いて古内先生も「安心して見ていられた。勝利を確信した。」そうです。さらに「今回の優勝は姉や家族のサポートがあったからこそ。」と感謝の気持ちを忘れない杉山さん。「目標とする選手は？」と尋ねると、「コマツの宇高選手です。大外刈や寝技で勝てる選手になりたい。」と即座に返ってきました。自分の柔道スタイルを常に模索するという点で、何事にも手を抜かず、真面目に取り組む前向きな姿勢が印象的でした。高校進学後も全国大会で活躍し、実績が残せることを期待しています。



初段 長澤篤希さん

(静岡学園中学校)

全国中学校柔道選手権大会男子73kg級 3位

柔道を始めたきっかけを伺ったところ、「保育園の頃かなりやんちゃだったようで、親が少し疲れさせようと思ったようです。」さらに「でも楽しくて仕方なかったから現在まで続いているのだと思います。」と笑顔で答えてくれました。全国大会を振り返ってもらうと「初戦はすごく固かった。ギリギリ動けた状態でした。そのうちいつものリズムを取り戻しました。準決勝では普段の動きができず負けてしまいました。優勝を狙っていたので悔しさしかありません。」と語ってくれました。

今後の目標は？と尋ねると、「親子二人三脚でここまで来たので、親に恩返しをするためにも高校で全国大会出場し、全国制覇をすることです。」と力強く話してくれました。静かな語り口ではありますが、真っ直ぐ前を見据えた長澤さんの柔道に対する真剣で熱い思いを感じました。



初段 渋谷 舞さん

(東海大学静岡翔洋高校)

全日本ジュニア柔道体重別選手権大会女子48kg級 3位

昨年このコーナーに登場していただいた渋谷さん。今回の入賞についてお話を伺うと、「全日本ジュニアには中3から出場していました。カデは優勝したけれど、この大会ではなかなか表彰台に手が届かなかった。そこで素直に嬉しかった。しかし決勝戦が同じ高校生同士で、自分がその場所に立てなかったことが悔しかった。」と入賞の喜びと反省を語ってくれました。今後は大学でも柔道をつけ、目標であるオリンピック出場に向けてもっと頑張らなければならないという意気込みを述べてくれました。

インタビューをしているときは常に笑顔の絶えない物静かな雰囲気のある渋谷さんですが、ひとたび柔道着に袖を通すと、積極的な前に出て攻め続ける柔道スタイルが持ち味です。監督の古内先生は「柔道が本当に好きな子です。」と渋谷さんを評してくださいました。渋谷さんの今後に大いに期待しています。

藤枝順心高校女子団体チーム
平成30年度全国高等学校総合体育大会女子団体 3位

先鋒 袴田佳名瑚さん
中堅 山本 杏さん
大将 米川明穂さん
補員 向尾知妃さん

2年生が中心の若いチームで臨んだインターハイでした。監督の沼野先生によれば、「2年生チームがよく頑張った面と、それとは逆の面が混在している。」と分析してくれました。「今後は彼女たちにプレッシャーがかかるはず。それをどう克服していくかが課題です。研究もされるでしょう。しかしそれを上回る努力をすることで、成長を止めることなく、一歩一歩前に進むことができるはずです。」とも語ってくださいました。チームを代表して米川さんにお話を伺ったところ、「山梨県の富士学苑チームと練習試合をして、なかなか勝てなかった。今回のトーナメントでは決勝までいかないと富士学苑とは対戦できないので、決勝へ勝ち上がりたい。」と意気込みを語ってくれました。部員の力を結集して、是非全国の頂点を目指していただきたいと思います。

普及活動

少年柔道教室

平成31年1月12日、浜松市武道館にて橋本壮市選手（パーク24所属）、釘丸太一選手、川端龍選手（ともにセンコー所属）を講師に迎えて少年柔道教室が開催された。

橋本選手からは「柔道をずっと続けていく中で大切なものが見えてくるので、途中でやめずに続けていってほしい。」といったメッセージをいただいた。柔道人口が減少する中、郷土のためにと申し出てくれた橋本選手の提案で開催された柔道教室は、盛会の内に幕を閉じた。



訃報



荻島康功 五段

平成30年3月1日御逝去

享年59歳

先生は小学生の時から大仁柔道会の故望月映英八段を師と仰ぎ、大仁中・市立沼津高・日体大と進み、保健体育の教師を天職として、松崎高・富士宮北高・富士宮西高・市立沼津高・沼津工業高で柔道部の顧問に就きました。

選手として小学生の県大会でも大活躍し、高校時代は個人戦では軽量級で活躍、団体戦ではチームの先鋒として東海総体で3位になるなど、チームの要として活躍しました。

特に指導者としての手腕に秀でており、富士宮北高・市立沼津高では多くの選手を全国大会に出場させ、上位入賞させました。女子柔道の先駆者として、また東部地区高体連部長としても顕著な業績を残しました。

昨年3月1日(木)、沼津工業高の卒業式に向かう途中、東名富士ICを通過したところで交

通渋滞に巻き込まれ、携帯電話に気を取られていた大型トラックに激突されました。

「二年後、退職したら大仁に戻り、大仁柔道会の子ども達と柔道を楽しむ」と、昨年2月4日、柔道協会東部支部新年会での話が忘れられません。

今年2月16日、松崎高柔道部OB会を中心に五校で百名からの教え子が集まり、沼津で退職を祝う会の予定が「偲ぶ会」になってしまいました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

沼津市立高校「一心会」

根本谷信一

第1回静岡県女性柔道交流会報告書

平成30年7月1日(日)、静岡市北部体育館武道場において第1回静岡県女性柔道交流会が開催されました。女性部会長の菊池先生としえ先生が中心となつて呼びかけ、10名ほどの女性スタッフの協力の下、今回の交流会(講習会・練習会)開催となりました。

とにもかくにも県内初の試みで、参加人数も小学生やキッズ、中・高生、県警所属の現役選手や一般・指導者を含め100名ほどでした。菊池先生の挨拶か

ら始まり、稲川郁子先生が講師を務めてくださり、審判講習会が始まりました。稲川先生は、最近の柔道のルールをわかりやすく、時に著名な選手を例に挙げながらの解説をしてくださり、参加者から思わず笑いが起こつたりしました。また柔道の試合における反則のゼスチャーを理解すること、より試合内容の理解につながるお話をしていただきました。「ネガティブ柔道には厳しく、ポジティブ柔道には寛容に」という原則に触れつつ、W杯サッカーの日本VSポーランドの試合を引き合いに、柔道の目指すものは何かを語っていただいたことは、小学生をはじめとする競技者全般に対する姿勢や心構えに通じるものであったと思われます。

第2部では乱取り練習を行いました。小学生・中学生・高校生・一般、現役選手が全員で稽古に励む姿は圧巻の一言に尽きます。こうした稽古の中から培われていく人間関係や連帯感が、「女子柔道の普及、ネットワークの構築」の第1歩となつていくと強く感じさせられました。参加者からも「貴重な体験」「現役選手との練習がすごく刺激になった」といった感想が寄せられました。練習後は閉会式を行い、昼食を摂りながらの交流懇親会となりました。普段抱えて

いる疑問や問題点を率直に話し合うことで、女性が柔道をする環境の整備につなげていくことが重要です。特に練習をする場所、不安や楽しさを共有できる時間、様々な学びを行う中で挑戦する心を養うことが今後の課題として挙げられます。菊池先生も「こうした会が継続していきます。それが大切だと考えています。そして今回参加できなかった方々にも、もっと柔道の魅力を再認識していただけるような会を運営していきたい。」と語ってくれました。



お詫びと訂正

「柔道しずおか」21号に掲載した、静岡県柔道祭の小学生団体の部の結果が間違っていました。関係各位にご迷惑をおかけしましたことをお詫びし、訂正いたします。

〔誤〕1位 清水町柔道会

〔正〕1位 育誠館道場

NEWS

浜松養神館、白石基金受賞

全国の都道府県柔道連盟(協会)より推薦された多くの団体の中から、日頃の活動と地域貢献が評価され、浜松養神館柔道スポーツ少年団が「少年少女柔道普及振興基金(白石基金)」を受賞されました。白石基金とは、故白石禮介氏(藤園中学・九州学院高校の元柔道部監督)のご遺族から全日本柔道連盟に贈与された基金を同人の遺志に基づき少年少女柔道普及振興に有効活用することを目的とするもので、平成30年度は16団体が表彰されました。

編集後記

今年もなんとか「柔道しずおか」を刊行することができました。取材を通じて多くの皆様の御協力をいただくことができましたことをたいへん嬉しく、また感謝の気持ちでいっぱいです。今回は特に協会創立70周年記念誌作成と重なり、関係各位には日程的に厳しい原稿依頼や締め切りとなりましたことを、この場を借りましてお詫び致します。平成もこの4月で終わり、新たな元号が制定されます。新しき世に相応しい協会組織でありたいと常に考えております。一層の御協力を賜りたく存じます。広報委員長 増尾清己